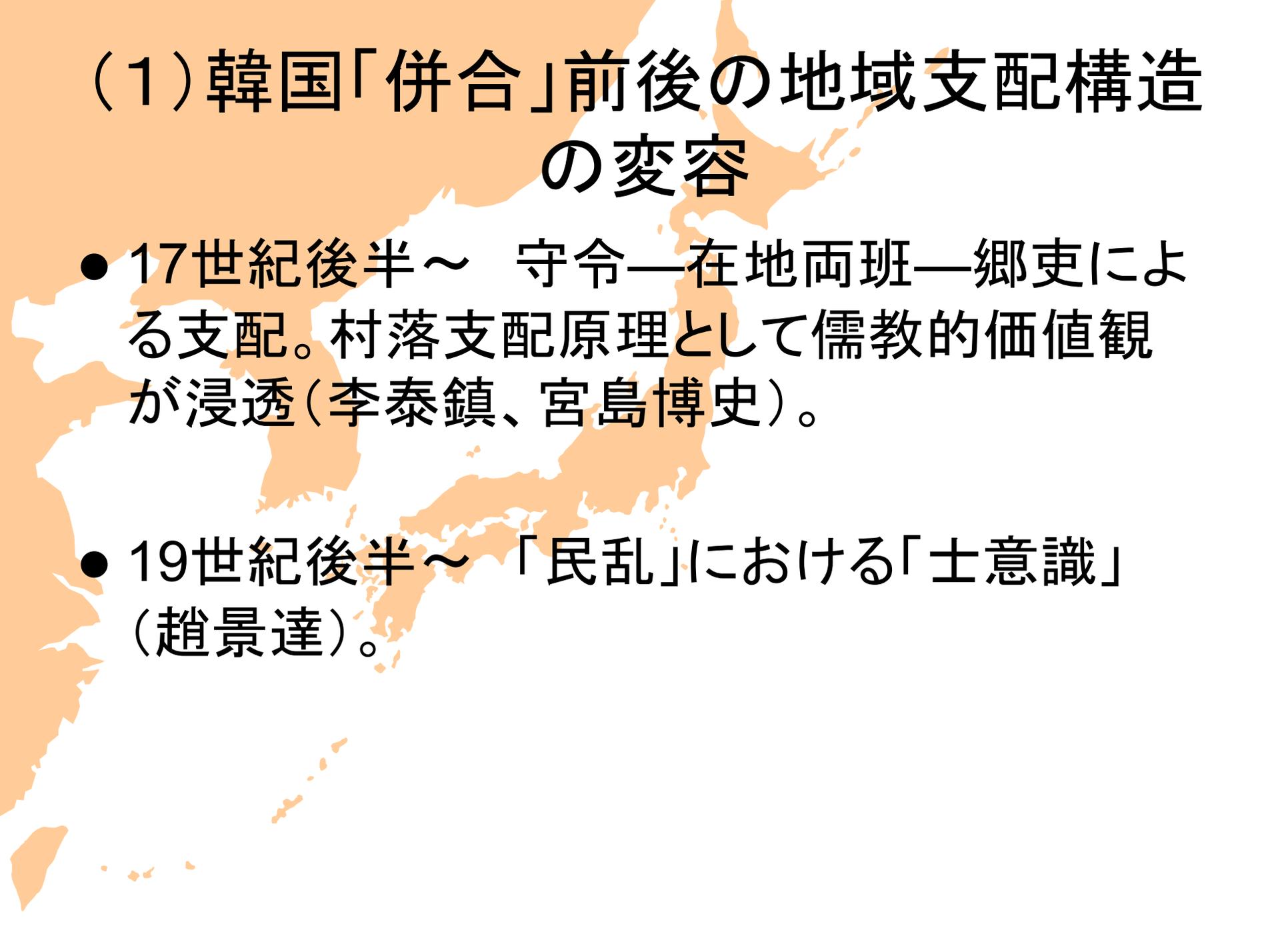


**地域社会から見た朝鮮植民地化—  
民情調査資料『酒幕談叢』を中心に**

**文科学術フォーラム                      2008.12.13**  
**松田利彦(国際日本文化研究センター)**

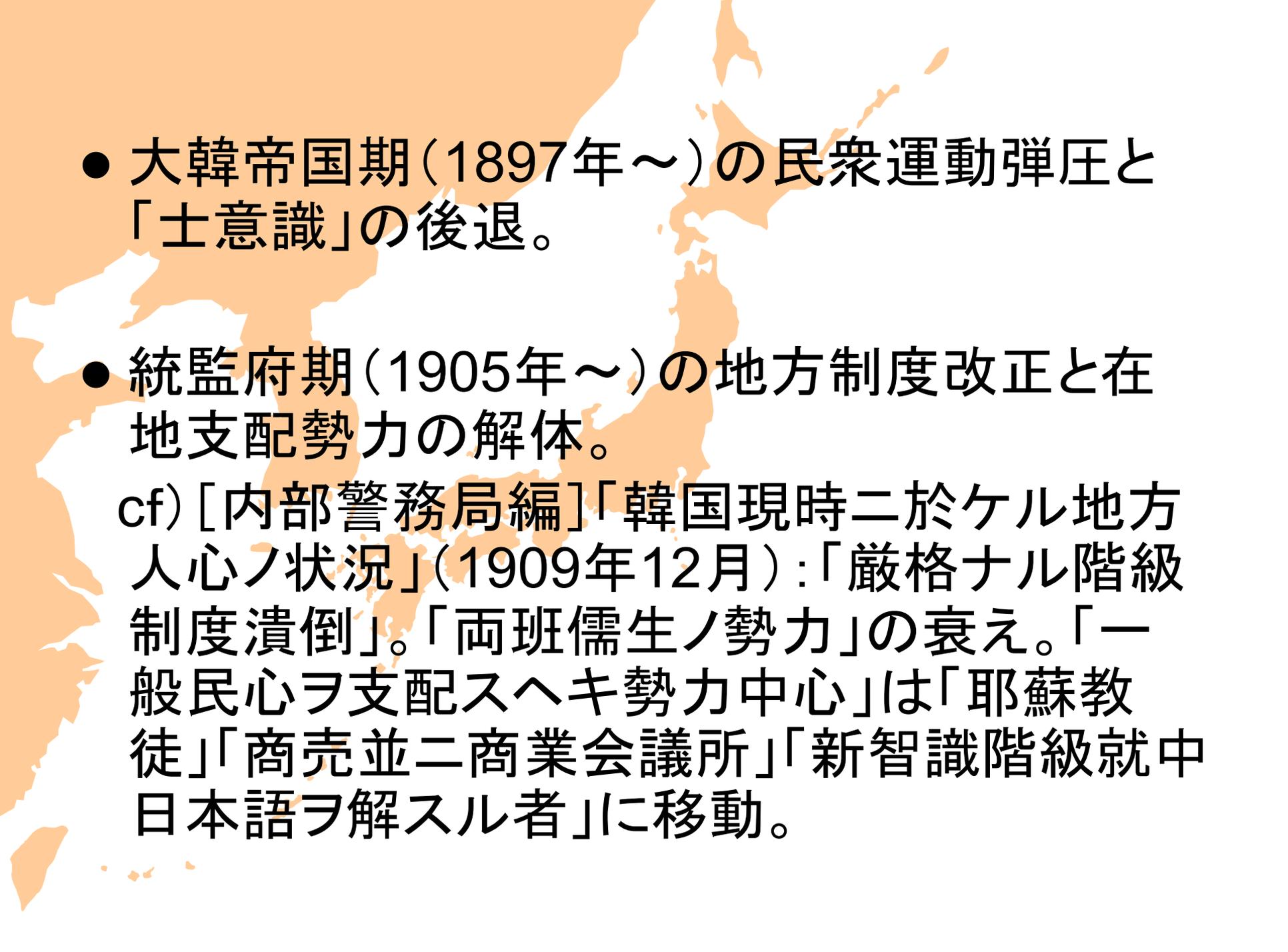
# はじめに

- 朝鮮近代史研究における「民衆」の捉え方。「独立運動至上主義」→「国民国家批判」。
- 「植民地的近代性」(Colonial Modernity) : 規律権力に包摂される「民衆」。
- 地域社会に目を向けることでリアルな「民衆」の姿に接近。



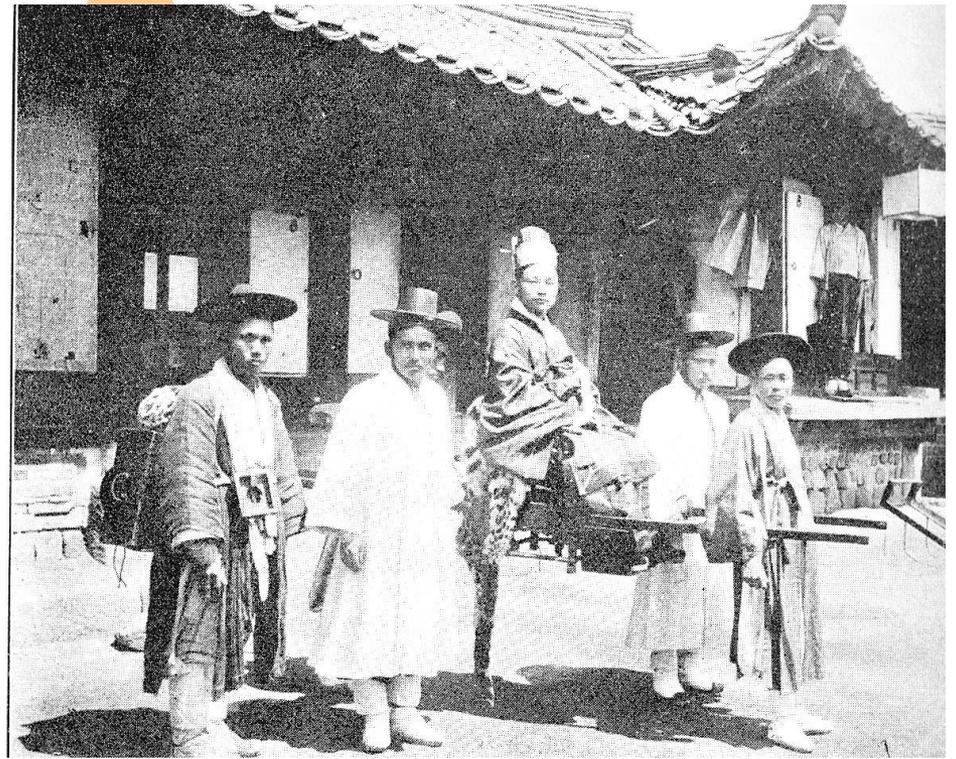
# (1) 韓国「併合」前後の地域支配構造 の変容

- 17世紀後半～ 守令—在地兩班—郷吏による支配。村落支配原理として儒教的価値観が浸透(李泰鎮、宮島博史)。
- 19世紀後半～ 「民乱」における「士意識」(趙景達)。

- 
- 大韓帝国期(1897年～)の民衆運動弾圧と「士意識」の後退。
  - 統監府期(1905年～)の地方制度改正と在地支配勢力の解体。  
cf) [内部警務局編]「韓国現時ニ於ケル地方人心ノ状況」(1909年12月):「厳格ナル階級制度潰倒」。「両班儒生ノ勢力」の衰え。「一般民心ヲ支配スヘキ勢力中心」は「耶蘇教徒」「商売並ニ商業会議所」「新智識階級就中日本語ヲ解スル者」に移動。

## 両班の権威の低下

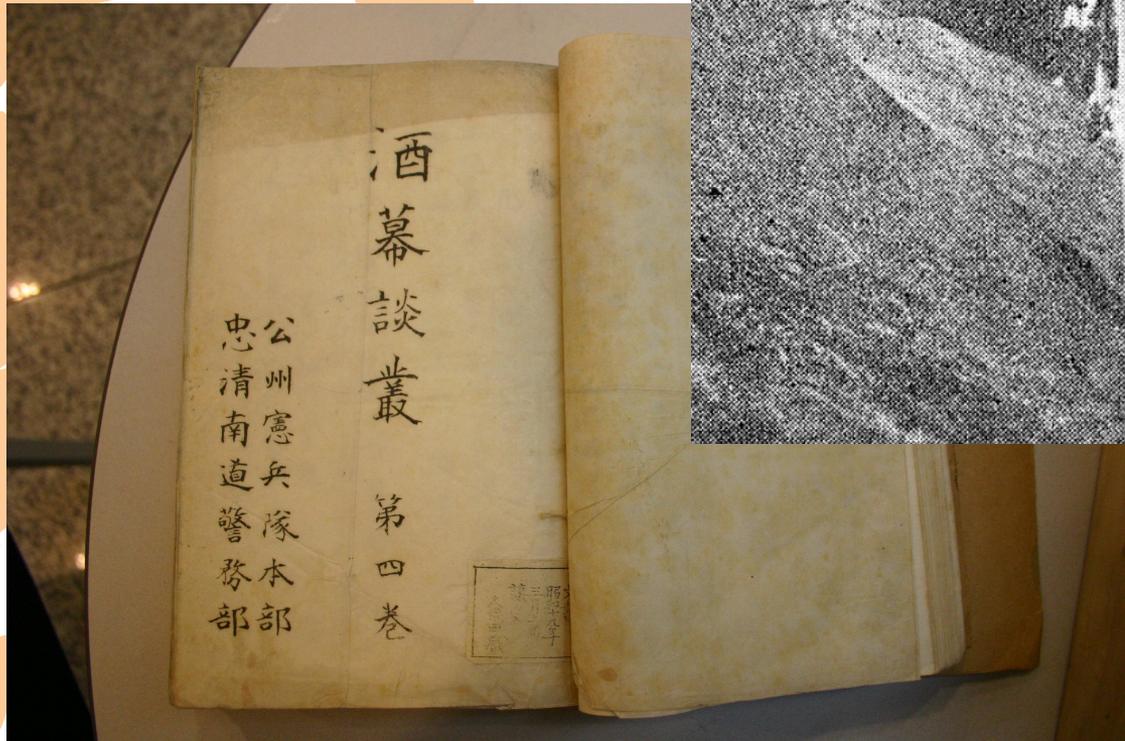
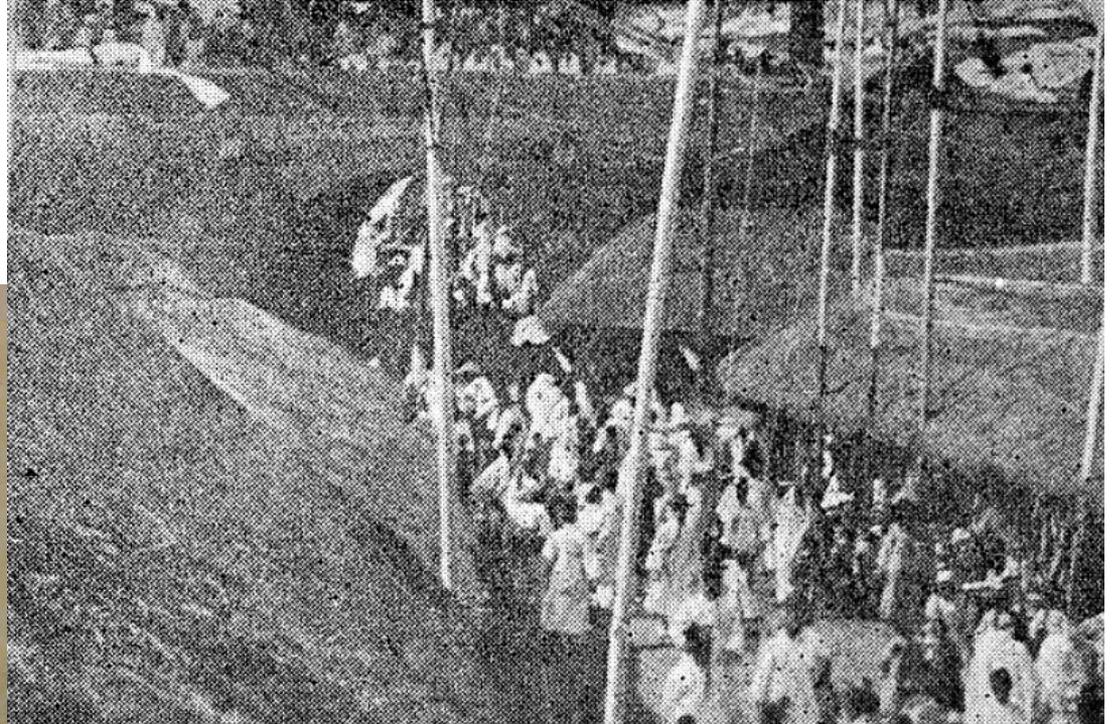
cf) 韓国併合直後から「日本人にくっついて急に威張り出した常民が、憎らしくてたまりませんでした」(李静賢(1927年、慶尚北道生)の談話)。



## (2) 『酒幕談叢』について

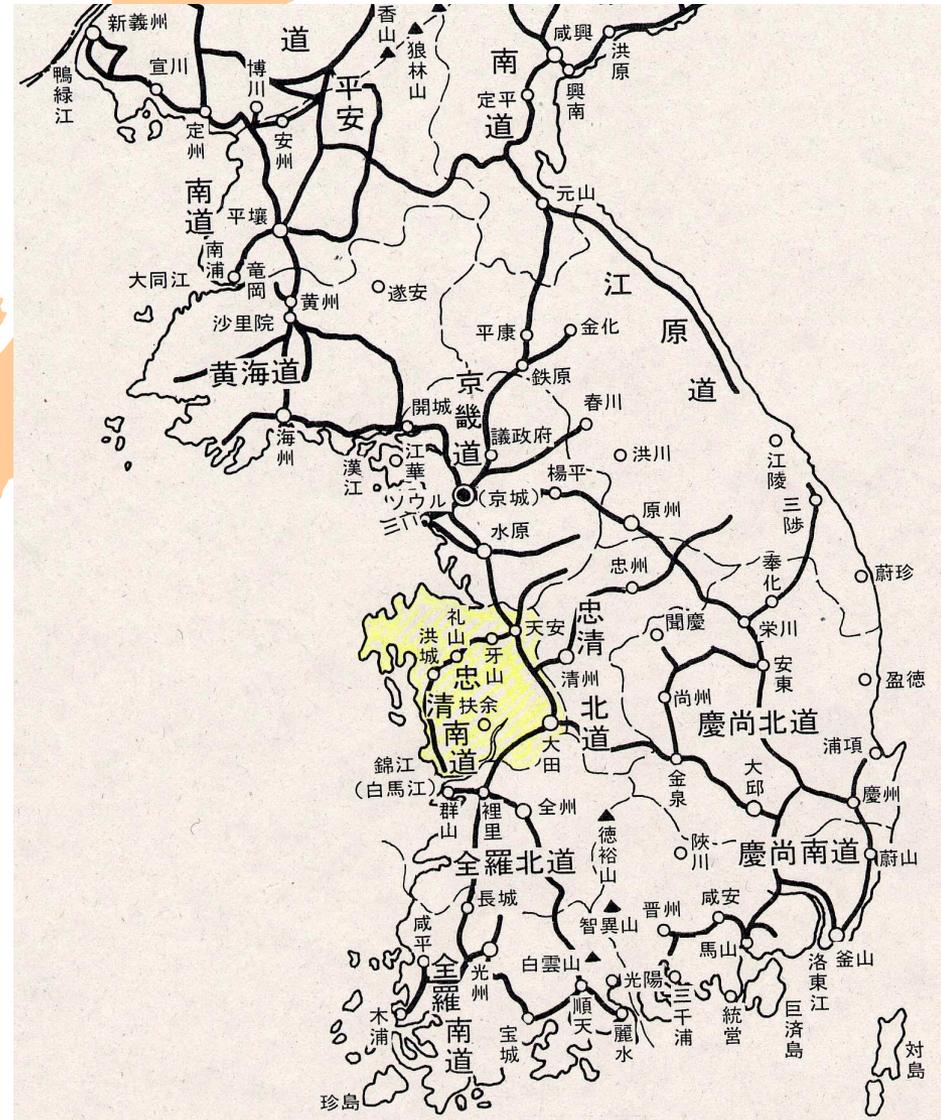
- 公州憲兵隊・忠清南道警務部調査・編纂『酒幕談叢』1912、14、15年版。
  - ＝ 憲兵補助員、朝鮮人巡査、巡査補を変装させ「酒幕」に入りこませ、「人民ノ談話ニシテ政治、經濟、宗教、教育、徵稅、農、商、工業等ニ関スル事項其ノ他諸種ノ浮説、訛伝、巷説」を収集。

# 酒幕と『酒幕談叢』(韓国国会図書館所蔵)



# 朝鮮半島地図

- 忠清南道：水田地帯。保守的で比較的近代的知识の流入が遅かった地域。



### (3) 植民地支配に対するイメージ

- 「文明ナル日本官員中特ニ憲兵ノ御陰ヲ以テ田舎迄安寧ニ暮シ得ルニ至レリ日本ノ文明ト聖徳トヲ蒙リ之レヨリ一般人民ガ文明ノ進歩ヲ望ムニ至レリ」(12年版、公州憲兵分隊)。
- 「朝鮮ガ日本ニ併合サレタノハ朝鮮ガ未ダ西洋諸国ノ如ク文明セヌ為メト思フガ数年ノ後朝鮮ガ内地同様ニナツタラ朝鮮ヲ独立国ニスルデセウカ」(14年版、瑞山警察署)。
- 「併合後税金ノ上納期限其他何事ニ限ラス規則正シク実行セラルハ文明ノ政治トシテハ左モアルベキ事ナルベキモ無学ノ吾等ノ考ヘニテハ余リ压制過キルノ感アリ」(12年版、牙山警察署)。

# ① 前近代支配体制・理念の解体に対して

- 両班の専横からの解放:「昔日ノ両班ハ今日ノ両班」ではない。「昔日ノ事ヲ考ヘバ齒ガギリヘシマス」(12年版、公州憲兵分隊)。朝鮮王朝期の官吏は皆「権勢振りノミ」で「収賄主義」。／「現今ハ両班農民ノ区別ナク平等施政トナリ実ニ樂モシキ時代」(12年版、禮山憲兵分隊)。
- 両班の権威失墜:「今度ハ文明国ノ人民トナリ両班等ハ駄目トナッタ」(12年版、唐津警察署)。

# 新知識・日本語の必要性の認識

- 「内地語ノ習熟ト新教育ハ必ス要ナリ」将来児童は必ず学校教育を受けさせるべき(12年版、**牙山警察署**)。
- 凶作時は「官吏ガ一番ヨイ……自分モ来年ハ官吏ニナロウカ知ラン」。憲兵補助員になるには「日本語ヲ知ラネバナラヌ」(14年版、**天安憲兵分隊**)。

# ‘成り上がり’への蔑視

- 「近来著シク人心ガ輕薄乱雜」。昔の貞孝忠信は顧みられず下賤の者が横行するのは「今日教育方法ノ欠点」(15年版、洪城警察署)。
- 「日本語ヲ解スル奴」は「生意氣」で「長幼ノ分ヲ弁ヘヌ」(14年版、天安憲兵分隊)。
- 「教育モ無キ者ガ日本語計リ通ジタトテ總督府制服テ金筋ガ可笑」(12年版、唐津警察署)。
- 「近頃ハ金錢上ノコトナルト兄弟ハ勿論親子間デモ訴訟ヲ為ス」(15年版、唐津警察署)。

## ② 憲兵警察に対する評価

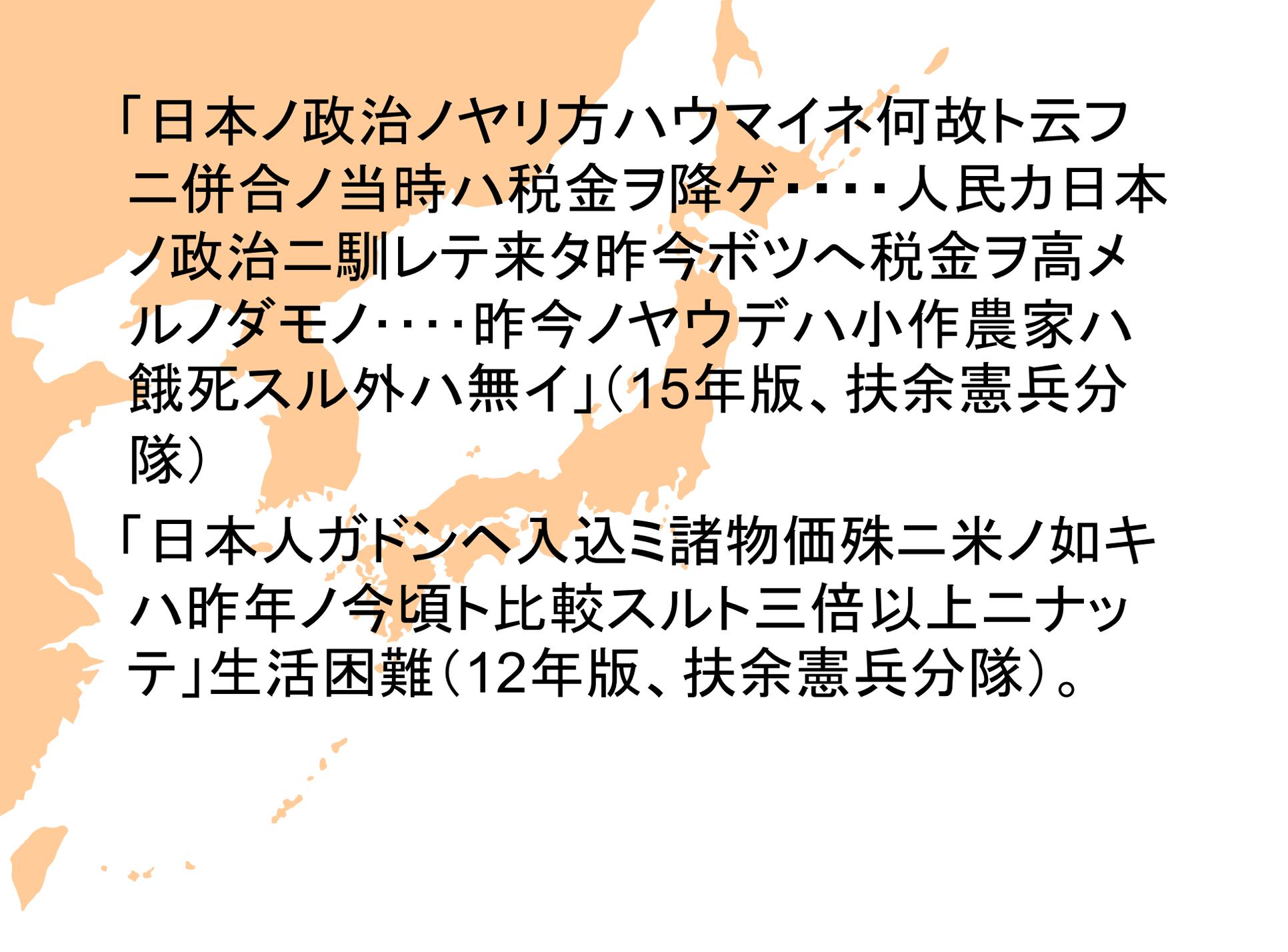
- 肯定:「現今ハ到ル処ニ憲兵警察ノ設備力完成シ暴徒出沒ハ全ク跡ヲ断チ皆就業ニ安シ枕ヲ高くシテ安臥ナシ得ル様ニナリタル」(12年版、禮山憲兵分隊)。
- 恐怖:市場税の不正申告の疑いがあると、巡查が「非常ニ殴打スル」(12年版、天安憲兵分遣所)。
- 「和服ヲ着テ終始巡回シテ居ル憲兵ハ怖ロシクテ」顔も見れない(14年版、天安憲兵分隊)。

## (4) 日常生活に関わる諸施策に対して

### ① 生活苦と税金

- 『酒幕談叢』各年度で首位。
- 1911～13年、米価高騰→14年下落。
- 1914年、地稅等の増稅

ex) 米価低落で「貧乏人ハ尚ホ困難」(15年版、  
瑞山警察署丁ノで春夏の借金の返済が出来  
ない(15年版、禮山憲兵分隊)



「日本ノ政治ノヤリ方ハウマイネ何故ト云フ  
ニ併合ノ当時ハ税金ヲ降ゲ……人民カ日本  
ノ政治ニ馴レテ来タ昨今ボツヘ税金ヲ高メ  
ルノダモノ……昨今ノヤウデハ小作農家ハ  
餓死スル外ハ無イ」(15年版、扶余憲兵分  
隊)

「日本人ガドンヘ入込ミ諸物価殊ニ米ノ如キ  
ハ昨年ノ今頃ト比較スルト三倍以上ニナツ  
テ」生活困難(12年版、扶余憲兵分隊)。

## ② 道路改修と賦役

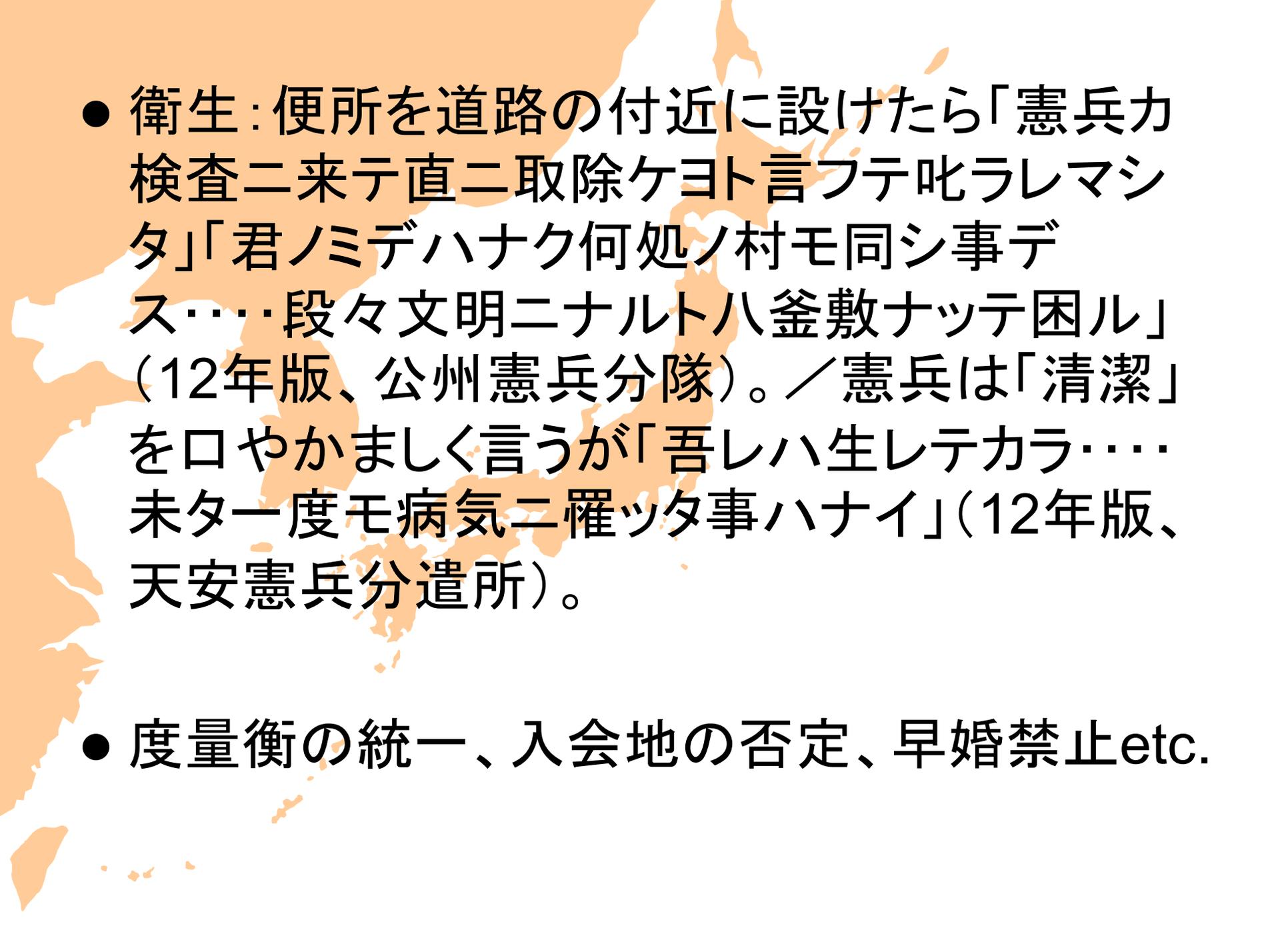
- 1911年、道路規則。12年、道路維持修繕規定。

ex)「道路ノ改修ヲシテ田畑ヲ沢山ツブス」ので困る  
(12年版、公州憲兵分隊)／「一厘ノ賃錢モ与ヘラレズ道路斗リ善クナツタトテ沢山ノ田畑ハ没埋サレ」ては「人民ハ……死ンテシモーヨリ外ハナイ」(12年版、天安憲兵分遣所)／「賦役ニ出ル日ハ二三十錢損ヲスル日トアキラメテ居ネバナラヌ」(15年版、公州警察署)。

### ③ 生活への近代的管理の導入

cf)「日本の支配は以前は管理対象とされなかった様々な分野の社会慣習を管理の標的として(再)発見ないし(再)創造した」(Cholwoo Lee)。

- →「併合後ハ何事ニモ吾々ノ為スコトニ官吏カ嘴ヲ容レルカラ何モ自由ニ出来ナイ」(12年版、天安憲兵分隊)。
- 「朝鮮モ漸次開明シテ万事ガ便利ニナルノハヨイガ万事万端規則責メニセラルヽニハ困ル」(15年版、扶余憲兵分隊)。

- 
- 衛生：便所を道路の付近に設けたら「憲兵カ検査ニ来テ直ニ取除ケヨト言フテ叱ラレマシタ」「君ノミデハナク何処ノ村モ同シ事デス……段々文明ニナルトハ釜敷ナツテ困ル」(12年版、公州憲兵分隊)。／憲兵は「清潔」を口やかましく言うが「吾レハ生レテカラ……未タ一度モ病氣ニ罹ツタ事ハナイ」(12年版、天安憲兵分遣所)。
  - 度量衡の統一、入会地の否定、早婚禁止etc.

# まとめにかえて

- 植民地化＝「文明化」の認識。
- 生活に根ざした防衛主義的態度。
  - ≠・近代的ナショナリズム
  - ・「植民地近代性」
- 「地域」への着目の重要性。